

・戦争が始まった当時は、「人権とか SDGs が叫ばれている 21 世紀にこんなことが起こるなんて… でもウクライナって遠いし、日本に影響はあんまりなさそうだな…」と思っていましたが、大きな間違いでした。小麦粉や石油など、身近なものがどんどん値上がりしていきました。僕の家族の生活がとても苦しくなったのかと言ったらそうではないのですが、ニュースで、小麦粉の値段が上がり経営が厳しくなった天ぷら屋さんの話を聞き、「やっぱり、ロシアの暴挙によってウクライナや世界の人々が苦しむのはおかしい。声をあげていかないと」と感じました。

しかし、戦況が移り変わる中で、プーチン大統領が戦争をやめる気配はありませんでした。「僕らが声をあげても意味がなさそうだな…」とも思いました。そんな無力感を感じていた中での今回のセミナーでした。その中でウクライナ情勢に触れるにつれて最も感じたことは、一番怖いのは、ウクライナについて誰もが無関心になってしまうことだということです。

僕たちは、「正しい」情報を知り、それをみんなに伝えていくことから始めていくべきだと思います。そうすれば、それがいつか大きな力となり、戦争を止める力になるはずです。

・自分が知らない、新しい視点から改めてみることができ、そして、こういうお話をすることがなかなか無かったので、新鮮でとても楽しかったです。

このセミナーを通して、これからの自分は何ができるのか、そういうものを考え、ロシア、ウクライナの戦争や内戦などがなくなるのは難しいかもですが、少なくなればと思います。

そして、隙間時間に阪神・淡路大震災などの新聞を見て、本当に人々が安心できる正確さだなと感じました。

これらのことを踏まえ、新聞からいろいろな情報を集めて、それを課題に周りの人と話すのは大事だなとセミナーを受け、感じました。

とても貴重なお話、ありがとうございました。

・新聞には読者が読むためのたくさんの工夫がされていてその一つ一つに驚きました。

・これまで NIE をやってきて理解したことが大人の人たちの努力によって支えられていたんだと知り改めて感謝しました。

新聞の奥深さを知ることによってこれからはまた少し違う目線で物事を見ることを意識していきたいと思います。

新聞が複数の目線からできているのは知っていたけどどういうものなのかは

理解していなかったものでこれを知ることによって今出と違う目線を手に入れられると思いました。

ウクライナの話はもっと昔にやった気がしていたのですが、まだ4カ月と知り、このようなことがまだ半年もしていないのにここまで大きな影響を世界に与えているのかと驚きました。

まだまだ終わりが見えませんが、このまま放置しては決して終わることがないので、子どもでもできることをして大人の心を動かすというのが問題解決に一番近づくと思いました。

安倍さんのように殺されてしまった政治関係者がいることは、日本にも平和がなくなり終わりに向かっているな、と改めておもいました。

もっと発表したかったです。

・今回の体験授業でウクライナ問題について深く知ることができました。ウクライナ問題は遠い国で起こっていて私と関係がないと思っていたけど、三好さんや西村先生の話を知っていると、神戸の深江文化村にウクライナ人が亡命していたということがわかり、日本にも関わりがあることを知りました。

ウクライナ問題だけでなく、コロナウイルスや震災などさまざまなことについて知れてとても楽しかったです。新聞社ならではの号外や震災当時の新聞などに触れられました！

先生や記者の方がいて最初は緊張していましたが、なかなかできない体験ができたので行って良かったです。